

【相談者に関する情報】

○所属機関・所属部署

有限会社 学術秘書 本店営業部

○通報者氏名

池田剛士

○住所 〒311-4141

茨城県水戸市赤塚1-386-1-107

○連絡先 tel 029-254-7189

Fax 029-254-7189

e-mail

iked@acsec.co.jp

【相談の内容：具体的かつ明確に記載して下さい。】

○相談の別

疑問

悩み

その他

調査依頼

○相談の具体的な内容

農研機構不祥事及び児玉事件に関する調査にご協力ください。

「児玉事件」についてはこちらをご覧ください。

<http://fornurse.jp/water.html#Affair-G>

事件の概略：

茨城県工業技術センターの食品バイオ部門長、吉浦貴紀氏が2010年6月から半年余りにわたって、看護師の中西京子さんに対し、根拠のない技術指導や有償試験を行いました。その際、旧食品総合研究所の当時、生物機能利用ユニットユニット長であった金子哲氏が吉浦部門長の指導に当たっていたことが判明しており、同氏がどのような指導を行っていたのかが焦点となっています。センターをはじめ、全国の試験機関、大学、研究機関に対する調査の結果、同氏の関与、指導なくしてセンターでの技術指導や有償試験は到底行いえなかったからです。

茨城県工業技術センターでの今回の不祥事が、NHKによる「テレビ放送番組ねつ造」（2011年）、筑波大学生命環境系での「メディアを使った研究不正」（2014年）などの一連の騒動を呼び起こし、現在も社会に混乱を巻き起こしています。

<http://fornurse.jp/water.html#RFC2025>

副センター長、児玉弘人らによる、中西京子さん勤める水府病院に対する脅迫事件、いわゆる「児玉事件」は、不祥事の隠ぺいを目的としたもので、農研機構幹部らが関与したことを示す、メールや関係者の証言などの決定的証拠もあります。

真相究明を止めるよう中西さんに念書を書かせるなどの脅迫は執拗にも、2014年6月と2016年7月の2度繰り返されました。

1回目の脅迫時には、私の方から直接農林水産省への通報を行いました。のちに、同省から連絡をとるよう指示された人物らが脅迫に直接関わっていた事実が判明しています。

農研機構 食品総合研究所 企画管理部長 川本伸一氏。

食総研に対する調査の手が伸びることを恐れての、中西京子さんの勤務先の病院を狙った脅迫の事実から判断すれば、金子ユニット長が茨城県工業技術センター不祥事で決定的役割を果たしていたことが推測されます。

当時の大谷敏郎所長にも電話やメールで何度も伝えましたが、何ら対応がありませんでした。

参考までにご案内させていただきますが、同時期に、センター不祥事で問題となった「ヤリブ試薬」を使った研究が埼玉大学、琉球大学の複数の研究機関で行われており、金子氏の関与についての調査が行われています。埼玉大学の関係者らによる証言では、同氏がヤリブ試薬について（とくに定量に関し）知識や経験が乏しかったことや最初の段階で同氏が試薬を無償提供するなど、積極的関与が認められます（センターでも同様に最初は無償提供でした）。その証言から、科研費を使った琉球大学の研究で研究の前提や信頼性に関わる決定的問題が生じていたことも判明していますが、琉球大学側からの協力が全く得られず、金子氏の関与は不明のままとなっています。

以上、

（１）吉浦食品バイオ部門長が行った根拠のない技術指導や有償試験での金子ユニット長の具体的な関与、

（２）農研機構幹部らによる隠ぺい工作、  
の2点につき、調査をお願いいたします。

不明な点がございましたら、質問リストを作成の上、ご質問ください。